

令和5年度 第9回常任理事会 議事録

日 時 令和6年2月17日（土）10時00分

場 所 北農健保会館

出席者 印藤智一、家近昭彦、齊藤幸治、石崎 賢、
川崎尚子、笹森恭之、太刀川建一、佐見洋治、
藤原 正、嵯峨亘道（議事録）

<進行：太刀川常任理事>

1 開 会

※議事録署名人（印藤理事長、太刀川常任理事、藤原常任理事）

2 理事長あいさつ

本日は、アルテミスホームゲームへの対応により出席者も少ないが、次回理事会への事業計画や予算の提案のほか、法人設立に向けた定款（案）について審議する重要な会議となるので、活発な議論をお願いします。

3 協議事項

各担当から、以下の内容について説明があり、理事会提案が承認された。

（1）第4回理事会の開催について

①令和6年度 協会運営の基本方針（案）について（印藤理事長）

協会100周年に向け、法人化を機に、より一層のガバナンスの強化や暴力・暴言などのハラスメント対応を重点目標に据えて取組みを進めていく。

②令和6年度 事業計画（案）について（各委員長）

・評議員会、理事会及び常任理事会等を例年どおり計画し、体罰・暴力・暴言の根絶の取組みでは、JVAの暴力撤廃アクションに基づき、啓発活動を継続するとともに、法人化に向けた定款及び規程の整備を進める。（齊藤総務委員長）

・令和6年度は、旭川市で8月に高等専門学校の全国大会が開催される。Vリーグホームゲーム対応もあり、競技委員会の体制強化のほか、開催地輪番制の再検討を行う。（石崎競技委員長）

・審判員の人材発掘は、参加者が減少傾向にあり停滞気味と感じている。カテゴリーレフェリー更新時期なので意志確認しながら進めるほか、ホームページの活用についても検討する。（川崎審判委員長）

・中学生強化合宿については、3月開催が厳しく、9月～1月開催に変更する。

強化育成基金を活用して実施する国民スポーツ大会少年強化対策事業については、本州の高校を招聘し、効果的なチーム強化に繋げたい。（太刀川強化委員長）

・次年度の伝達講習会は、4月13日（土）に開催予定しているほか、道公認コーチ、日本スポーツ協会公認コーチ取得講習会について開催を予定している。（笹森指導普及委員長）

③令和6年度 一般会計・特別会計予算（案）について（齊藤総務委員長）

一般会計予算の収入の部では、受領方法の見直しに伴う交付金の減やVリーグホームゲーム数の増加に伴う委託料の増等により、前年度予算額から60万円増の2,110万円を見込む。

一方、支出の部では、指導普及委員会の中学生強化交歓会事業の隔年実施に伴う事業費の減やVリーグホームゲームの開催増加に伴う開催交付金の増、法人設立に向けた会議等の増加に伴う旅費及び会議費の増を見込み、全国インターハイに対する2か年の支援が、令和5年度で終了したことに伴う減、法人設立に係る定款登記に向けた行政書士等への委託料の増、Vリーグ受託収入の増加に伴う法人税等の増のほか、法人設立準備費等を予備費に見込み、収支同額の合計2,110万円を見込む。

特別会計予算の財政調整基金は、収入を前年度繰越見込額に利息を計上し、強化・育成基金では、収入を前年度繰越見込額に利息を計上し、支出は、強化委員長から説明した国民スポーツ大会少年強化対策事業として160万円を計上するもの。

④令和6年度 定時評議員会の開催日程等について（齊藤総務委員長）

規約第32条の規定に基づき、定時評議員会の日時を5月11日（土）の15時から、場所はきたえーる研修室にて、令和5年度の事業報告及び各会計決算認定ほかについて審議することが提案された。

⑤一般社団法人北海道バレーボール協会定款（案）について（齊藤総務委員長）

先に理事会承認を得た「法人設立準備スケジュール」に基づき、昨年末から行政書士との調整・協議を重ね、新法人の定款（案）を整理したことから、次回理事会に提案する。

定款（案）は、理事会承認を得た組織体制や現規約との整合を考慮し、第1章の総則から第12章の附則まで、全60条からなり、第3章の会員では、会員種別を規定し、道内に組織されたバレーボール競技連盟及び各地区を代表するバレーボール協会の代表者を「正会員」とし、正会員をもって、一般法人法上の「社員」とするほか、入会、会費等について規定する。

第4章の社員総会では、社員総会の構成や権限を規定し、第5章の役員では理事と監事を置き、理事のうち1名を理事長とし、理事長を新法人の代表理事とするほか、理事の権限等について規定する。

第6章の理事会では、理事会の構成等について、第7章の会長及び顧問等では、会長及び副会長の権限等を規定し、第8章の本部、委員会及び事務局では、理事会の事業執行機関として、本部及び委員会を置くことを規定し、第9章で加盟団体、第10章で資産及び会計、第11章で定款の変更及び解散等、第12章で附則を規定するもので、理事会提案に当たり、法人移行手続きを円滑に進めるため、今常任理事会の承認をもって公証役場に定款の事前認証作業を先行依頼する。

（意見）法人化を機に、ボランティア組織からアマチュア組織に変革し、会議や事業に対し日当を支給するよう検討していきたい。（印藤理事長）

国体やJOCスタッフ等も負担は大きい、協会法人化を機に、負担軽減が図れる仕組み検討する必要があると考える。（家近副理事長）

- (2) 一般社団法人北海道バレーボール協会規程の整備について（齊藤総務委員長）
定款を補完するため、規程の整備を進め、現16規程を14規程に整理する。
現専門委員会設置規程は、新法人におけるガバナンス強化のため本部制を導入することから、本部及び委員会規程に改める。
弔慰規程は、慶事項目を追加した慶弔規程に、加盟団体申請規程は、基本金や賦課金について定めた加盟団体規程に、役員等選考委員会運営規程と名誉会長・顧問・参与推薦基準内規を統合し、選任基準を明確化したうえで、役員等選任規程に、競技者及び役員等倫理規程は、倫理規定に、文書管理規程、助成金交付要綱及び全国大会等助成金交付要綱は、事務局運営規程に統合するほか、新規規程として、理事会運営規程、役員等の定年規程、年会費及び登録料規程を制定すべく素案を整備し、5月開催の理事会提案に向け準備を進める。
- (質疑) 倫理規程の名称は古くないか？⇒他県協会は「倫理規程」が多いが「コンプライアンス規程」とするか検討する。（齊藤総務委員長）
- (3) 令和6年度 全道大会開催日程について（石崎競技委員長）
一部の大会を除き概ね日程が固まっており、高校選手権大会予選会は11月17日（日）が大会最終日となり、江別で行う変則日程となる。
中学選抜優勝大会は5月3日～5日、中学優秀選手選抜大会は、3月26日～28日に芦別市・富良野市で開催予定。
- (4) 令和6年度 会議スケジュールについて（齊藤総務委員長）
会議スケジュールを整理した、変更等は随時連絡するが予定願う。
- (5) その他
- ①能登半島地震被災県協会への義援金について（齊藤総務委員長）
令和6年1月1日に発生した能登半島地震で被災した石川県の復旧・復興と、一日も早いバレーボール活動の再開を願い、各地区協会及び加盟団体と協力して、義援金の贈呈を行いたい。
これまでも、道協会では、平成30年に発生した、北海道胆振東部地震の際に、大分県協会から義援金を受けているほか、平成23年に発生した「東日本大震災」、平成28年に発生した「熊本地震」では、被災した県協会に、地区協会や加盟団体と協力して、義援金を贈った経過がある。
東日本大震災や熊本地震と同様に、各地区協会と加盟団体に対し、1口5,000円からの義援金募集の通知を送付し、道協会の一般会計口座に振り込みを依頼して、集まった義援金に、道協会分を追加して、石川県協会に送付する方法で義援金の募集を行う旨、次回理事会に提案する。
- ②企業からの大会協賛の申出について（齊藤総務委員長）
札幌市内の企業から大会協賛の申出があり、今後先方と具体的な調整を行い協賛に繋げたい。

4 報告事項

- (1) 日本協会関係（印藤理事長）
JVAが1月末に法人格取得に向けた説明会を開催した。

JVAでは、都道府県協会の法人化に係る設立や維持コストの支援を行うことが報告された。

SVリーグへの移行を踏まえ、今以上にホームゲーム試合数の増加が見込まれることから、スタッフ人員の確保等の検討が必要となる。

(2) 各委員会関係

①総務委員会（齊藤総務委員長）

2024年度のMRSの登録受付は、3月7日から開始。

第10回常任理事会は3月9日の10時からきたえーる研修室で開催し、13時30分からは、第4回理事会を開催する。

②競技委員会（石崎競技委員長）

2月2日から4日の日程で苫小牧市で開催した高校新人大会が終了した。

今回も大会期間中の雪による交通機関に影響が生じたことから、開催時期の見直し検討が必要と考えている。

練習場所の確保や施設の暖房不調等のトラブルはあったが、苫小牧協会の協力ですべて無事大会を終えることができた。

③審判委員会（川崎審判委員長）

公認審判員規程に基づき、加盟団体から申請された10名を名誉審判員として認定する。

④強化委員会（太刀川強化委員長）

JOCジュニアオリンピックカップの大会結果、高校男子選抜強化合宿の結果が報告された。強化合宿では移動に係る経費や宿泊代の捻出が課題となっており、検討を要する。

道スポーツ協会では補助されない国体少年のコーチ・マネージャーの旅費男女4名分を道協会に補助してほしいとの要望があり検討する。

⑤指導普及委員会（笹森指導普及委員長）

日本協会公認講師は、家近副理事長が認定された。

中学校の関係では、1月のジュニアキャンプ、3月の地区対抗戦、5月の選抜優勝大会を令和7年度までは、芦別市・富良野市で開催することが決定した。

⑥中学校体育連盟（佐見常任理事）

地域移行の受け皿となる地域クラブ活動の開催基準が緩和された。

⑦高等学校体育連盟（藤原常任理事）

現在中国の江蘇省の高校男子の監督である印東玄弥氏（恵庭南校卒）が、8月3日～12日に道内合宿を実施したいとの申出があり、高校・大学等にも参集を呼び掛けている。

5 閉 会

【次回：令和6年3月9日（土）10時～ 北海きたえーる】